

将来の主要なリスク



将来!? すでに進行中である!!

*1 RCP: 代表濃度経路シナリオ (Representative Concentration Pathways) のこと。IPCC 第5次報告書では、代表濃度経路を複数用意し、それぞれの将来の気候を予測するとともに、その濃度経路を実現する多様な社会経済シナリオを策定できる「RCPシナリオ」を用いている。

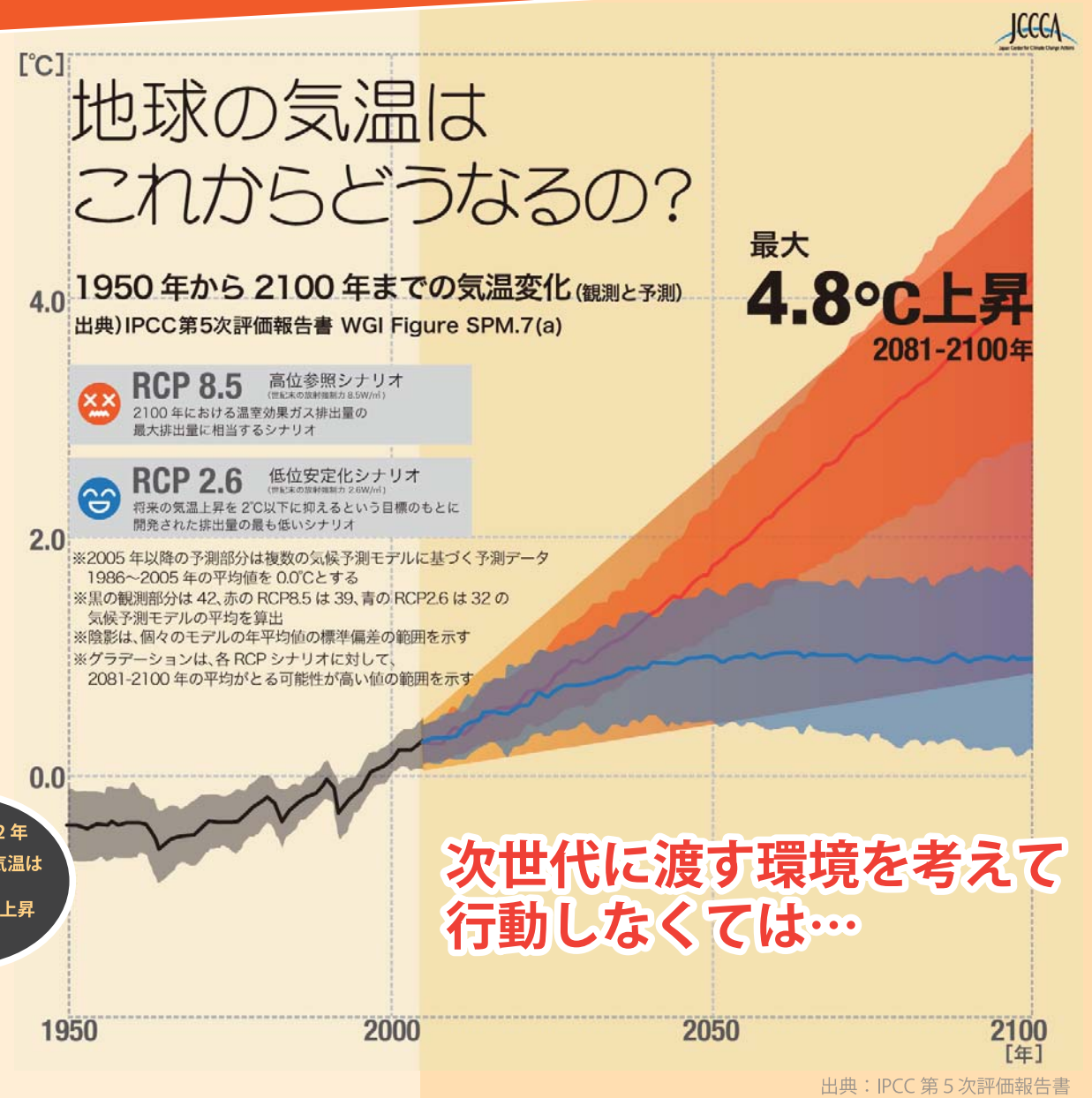
発行：脱温暖化センターひろしま (一般財団法人広島県環境保健協会)
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号
TEL: 082-293-1512 FAX: 082-293-1524



2015.2 © kanhokyo

地球温暖化は「疑う余地がない」

最近30年の各10年間の世界平均地上気温は、1850年以降のどの10年間よりも高温。



20世紀半ば以降の温暖化の主要な要因は、**95%以上** 人間活動の可能性

2010年夏 庄原市豪雨土砂災害

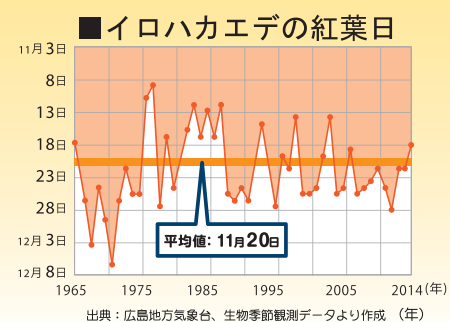
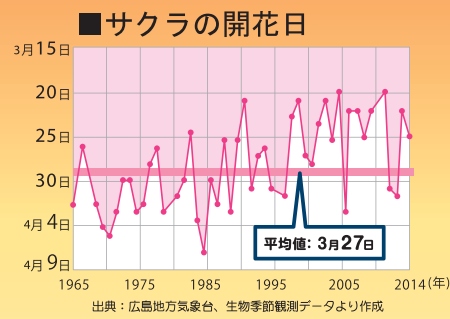


写真提供：中国新聞社（2010年7月18日）

2011年冬 山陰地方の豪雪

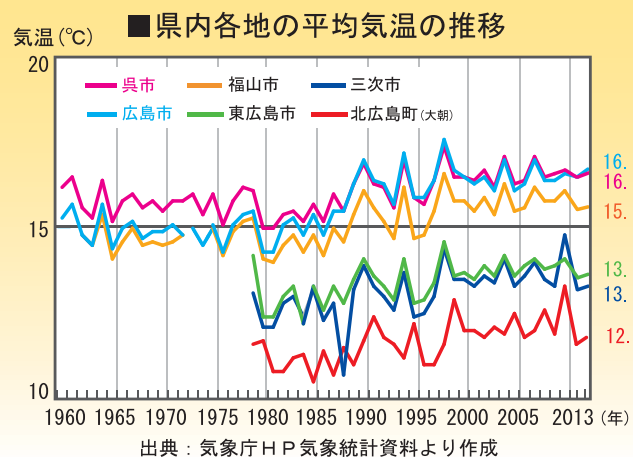


写真提供：共同通信社



増加する異常気象 頻発する巨大災害 地球温暖化とも関係が!?

地球温暖化が深刻化することで、自然災害の強大化にも影響を及ぼすことが懸念されている。雨に関していうと、地球温暖化による海水温の上昇に伴い、大気中の水蒸気が増える。すると、低気圧などの強さが変わらなかったとしても、水蒸気が多い分だけ雨が降る傾向になり、大雨の頻度が徐々に増えていくのだ…。



2013年夏 異常高温・記録的猛暑



写真提供：共同通信社

2100年末に予測される
日本への影響

(温室効果ガス濃度上昇の最悪ケース RCP8.5、1981-2000年との比較)

気温	気温	3.5～6.4°C上昇
	降水量	9～16%増加
	海面	60～63cm 上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂丘	83～85%消失
	干潟	12%消失

2014年夏 平成26年8月豪雨



写真提供：中国新聞社（2014年8月21日）

2010

夏 庄原市豪雨

(西日本～東日本にかけて大雨)

記録的猛暑

(過去113年間で最も高い平均気温)

秋 奄美地方大雨

広島の高気温
最高気温 37°C
猛暑日 24日
真夏日 79日
最低気温 25°C以上 52日

2011

冬 北陸・山陰地方で豪雪

夏 新潟・福島豪雨

台風12号大雨
台風15号暴風・大雨

広島の高気温
最高気温 35.3°C
猛暑日 1日
真夏日 70日
最低気温 25°C以上 37日

2012

冬 北海道地方で豪雪

春 低気圧による暴風・高波

夏 九州北部豪雨

近畿南部大雨
台風16号および大気不安定による
大雨・暴風・高波・高潮

広島の高気温
最高気温 36.6°C
猛暑日 9日
真夏日 71日
最低気温 25°C以上 48日

2013

冬 東北地方で豪雪

夏 梅雨前線および大気不安定による大雨

(西日本～北日本の広い範囲)
記録的大雨 (島根県・秋田県・岩手県)
異常高温 (最高気温40°C突破)

秋 台風18号による大雨
台風26号による暴風・大雨

広島の高気温
最高気温 36.5°C
猛暑日 17日
真夏日 77日
最低気温 25°C以上 48日

2014

冬 発達した低気圧による大雪・暴風雪

夏 台風8号および梅雨前線による大雨・暴風
台風12号、11号と前線による大雨・暴風

広島市豪雨

(平成26年8月豪雨)
台風18号による大雨・暴風

広島の高気温
最高気温 36.4°C
猛暑日 2日
真夏日 49日
最低気温 25°C以上 18日